Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2026-11-23

兵庫県内の防災教育の取組と連携

紅谷, 昇平

(Citation)
神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室第7回シンポジウム「いのちを守る・学び継ぐ：緊急医療と防災教育の最前線」

(Issue Date)
2018-11-30

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81010605

KOBE UNIVERSITY

2018年11月30日

兵庫県内の防災教育の取組と連携

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科
紅谷昇平

本日の内容は、発表者が知っている主要な活動を取り上げたものであり、各大学等が実施している様々な防災教育や交流に関する取組を、全て把握できているものではありません。抜け漏れ等も多数あると思いますが、関係者の皆様はどうぞご容赦ください。

兵庫の防災教育の特徴

■被災地としての使命

- 兵庫県は、23年前、阪神・淡路大震災を経験。その復興や、国内外の被災地支援など、防災に関しては、たくさんの教訓の蓄積がある。
- その経験、教訓を伝えるのは、被災地としての使命として、防災甲子園やひょうご安全の日のつどいなど、多くの取組を実施。

■立地の優位性

- 小中学校の防災教育にはじまり、高校、大学、社会人まで、幅広い年齢層を対象とした防災教育プログラムを有する。
- 県内には、人と防災未来センターをはじめ多くの防災関係機関、NPO等が立地しており、防災教育でも連携が図られている。

兵庫県内の大学における防災教育関連の主な取組の流れ

1996年	神戸大学　都市安全研究センター設立
2002年	兵庫県立舞子高等学校　環境防災科設置
2003年	兵庫県立大学　21世紀COEプログラム「ユビキタス社会における災害看護拠点の形成」採択
2003年	神戸大学　　21世紀COEプログラム「安全と共生のための都市空間デザイン戦略」採択
2005年	関西学院大学　災害復興制度研究所　設立
2006年	神戸学院大学　防災・社会貢献ユニット設立
2011年	兵庫県立大学　防災教育ユニット（防災教育センター）設立
2011年	神戸大学　大学の世界展開力強化事業「東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム」採択
2012年	近畿地区7高専　大学間連携共同教育推進事業「近畿地区7高専による防災技能を有した技術者教育の構築」採択
2014年	神戸学院大学　現代社会学部　社会防災学科開設
2017年	兵庫県立大学大学院　減災復興政策研究科開設
2019年	関西国際大学　経営学部　経営学科　防災・危機マネジメント専攻設置

兵庫県内における防災教育の取組概要

小学校・中学校
・副読本「明日に生きる」（兵庫県）、「幸せ 運ぼう」（神戸市） 等

明石高専・
神戸市立高専
（近畿地区7高専）

舞子高校　環境防災科

大学コンソーシアム
ひょうご神戸

神戸学院大学※1
関西国際大学※2

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科
（修士、博士）

神戸大学、兵庫県立
大学、関西学院大学
等の防災関連学部、
研究科の副専攻、
コース等

学校防災アドバイザー

EARTH

県、市町、
DRA※3加盟
組織（JICA、
ADRC、IRP、
ISDR等）他

＜実務者・社会人向け教育＞
兵庫県広域防災センター　ひょうご防災リーダー講座
人と防災未来センター　災害対策専門研修　等

※1 現代社会学部社会防災学科
※2 人間科学部 経営学科セーフティマネジメントコース
※3 DRA(国際防災人道支援協議会)：HAT神戸等に立地する防災関係機関により構成された連携、交流のための協議会

兵庫県震災・学校支援チーム（EARTH）

- 教職員による災害時の学校支援組織の設置が平成8年度の「防災教育推進協議会」で提言され、それを受けて「震災・学校支援チーム（EARTH）」が2000年に発足。
- 災害時に避難所となった学校への支援（避難所開設・運営、学校の早期再開、心のケア等）や、平時の防災教育や防災体制に係る講演、研修等を行っている。
- 担当教員など34名、アドバイザー役としてのカウンセラー5名、計95名でスタートした。
- 現在、防災教育推進指導員養成講座（上級編）修了者した教諭、養護教諭、栄養教諭、学校事務職員、159名に加え、カウンセラー3名を特別構成員として162名で活動している。

（出所：震災・学校支援チーム（EARTH）ホームページより）

国際防災人道支援協議会
Disaster Reduction Alliance (DRA)

- 神戸東部新都心を中心に立地している防災に関する多分野・多機能にわたる機関が連携し、国際的な防災・人道支援活動に貢献することを目的として、2002年に設立。

- アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）
- アジア防災センター
- 神戸地方気象台
- 神戸赤十字病院
- 国際エメックスセンター
- 国際協力機構（JICA）関西国際センター
- 国際復興支援プラットフォーム（IRP）
- 国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所
- 国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸事務所
- 世界保健機関健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）
- 地球環境戦略研究機関（IGES）関西研究センター
- 日本赤十字社兵庫県支部
- 人と防災未来センター
- 兵庫県こころのケアセンター
- 兵庫県災害医療センター
- 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科
- 兵庫県立大学 防災教育研究センター
- ひょうご震災記念21世紀研究機構
- 兵庫耐震工学研究センター

兵庫県内での防災教育での連携

各大学レベルで、個々の連携の取組が実施

- 小中学校、高校とは、防災訓練、出前授業、震災関連イベント（災害メモリアルKOBE、津波防災の日、ひょうご安全の日、等）、ボランティア活動等を通した交流、連携が実施。
- 大学間では、教員が非常勤講師として相互に講義を担当したり、一般公開された神戸大学都市安全研究センターオープンゼミナールの開催など、部分的な連携が進む。
- 実務者との交流では、自治体・NPO・企業等の社会人講師による大学での講義や、大学教員が人と防災未来センターやひょうご防災リーダー講座などの講師を務めるなどの交流がある。

体系的・組織的な連携は限定的

- 体系的・組織的な連携としては、兵庫県教育委員会の学校防災アドバイザー制度、大学コンソーシアムひょうご神戸の共同ボランティア・単位互換、ひょうご防災連携フォーラムなどの動きがみられる。

大学コンソーシアムひょうご神戸の活動

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸とは

- 2006年に発足。兵庫県下の32大学、8短期大学・短期大学部、1高等専門学校の計41校、学生総数約10万人を母体に、国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会、キャリア委員会、高大連携委員会、FD・SD委員会を設けて事業を展開している。

平成29年度の主な防災関連活動

- 単位互換（関西国際大学「災害と安全」、兵庫県立大学「減災復興政策概論」、「兵庫の災害と防災」、「防災実践講座2」）
- ボランティア派遣（宮城県名取市、熊本県益城町、兵庫県丹波市）
- 国際交流：シンポジウム「多文化共生から始まる防災・減災と復興ー今、ここから未来へ」開催、留学生と日本人学生がともに学ぶ防災ワークショップ、在住外国人と日本人学生・日本人がともに学ぶ防災ワークショップ「避難所の生活を体験してみよう」開催

今後の連携に向けて

- 兵庫県（京阪神地域）は、全国でも防災の専門家、専門機関が集積しているエリアであり、防災教育にも熱心に取り組まれている。
- 様々なレベルで、防災教育に関する連携、交流の活動もみられる。
- 一方、理学系、工学系、人文系、社会科学系、英語科目など、細かくみれば、各大学の得意、不得意や教員体制の不足もある。
- 例えば、留学生を対象とした英語コースの提供や、学部・研究科の副専攻、副コースとしての単位互換科目の提供などで、大学間の連携を深めていくことは有効と思われる。

終わり